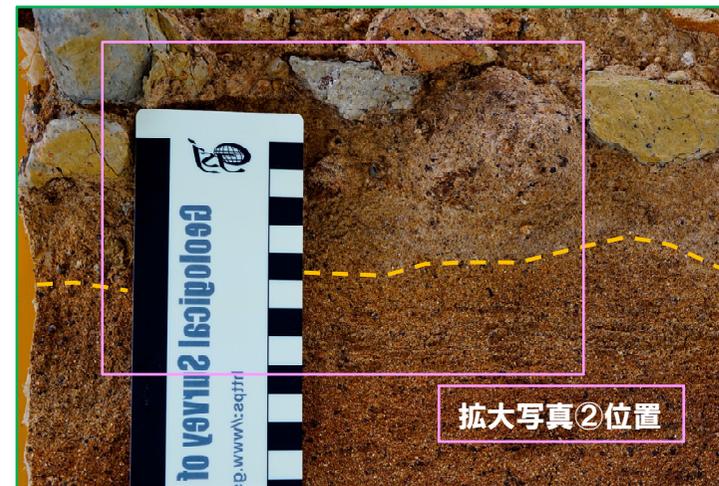
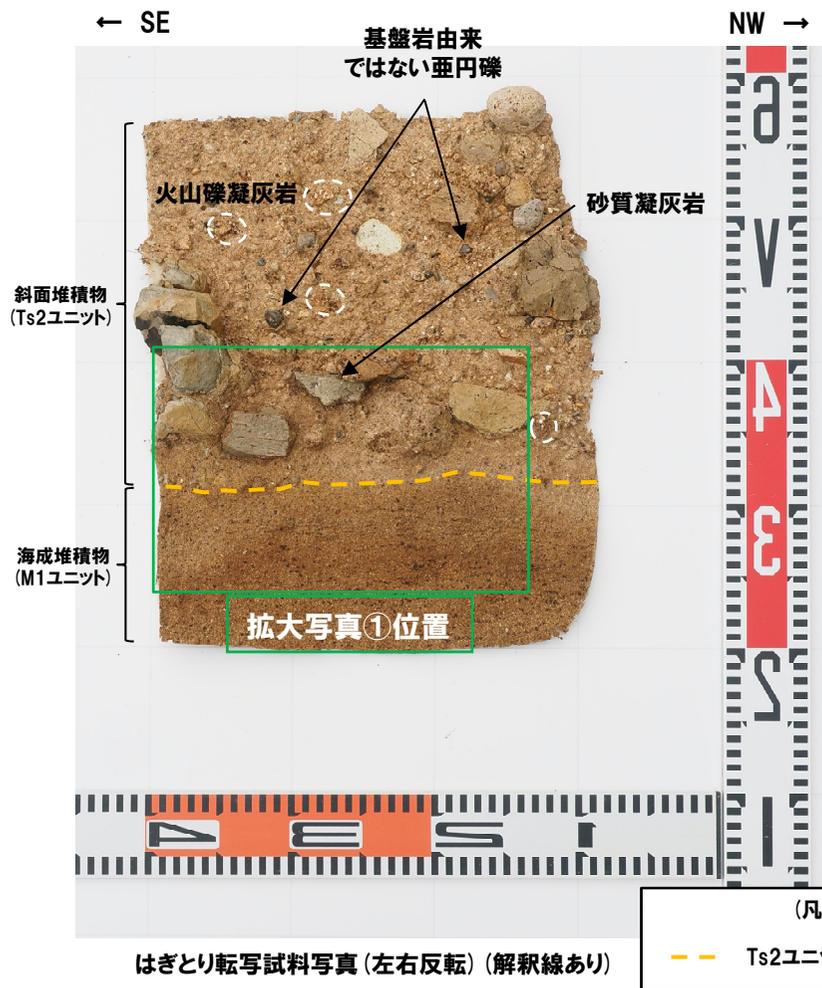


余白

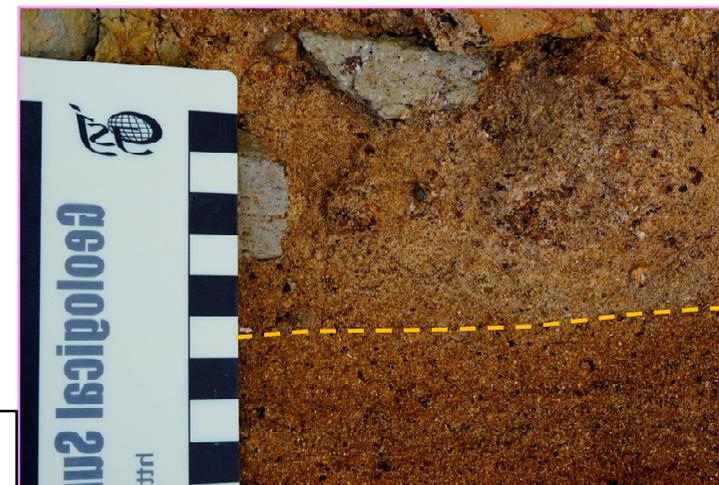
2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts2ユニット①)(2/3)-

- 海成堆積物(M1ユニット)は明褐灰色を呈する砂で、細粒～中粒砂からなり、淘汰がやや良い。
- 斜面堆積物(Ts2ユニット)は淡褐灰色を呈する礫質シルト混じり砂で、基底面は下位の海成堆積物を侵食している。基質は淘汰が悪いシルト混じり細粒砂であり、旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる亜角礫(約30mm以下)及び砂質凝灰岩由来と考えられる亜角礫(約30～50mm主体)が認められる。また珪質岩等の基盤岩由来ではない亜円礫をわずかに含む。



拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)



拡大写真②(左右反転)(解釈線あり)

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts2ユニット①)(3/3)-



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線なし)



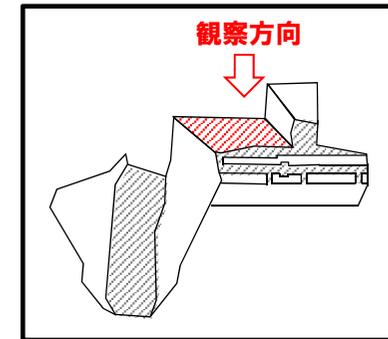
拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)



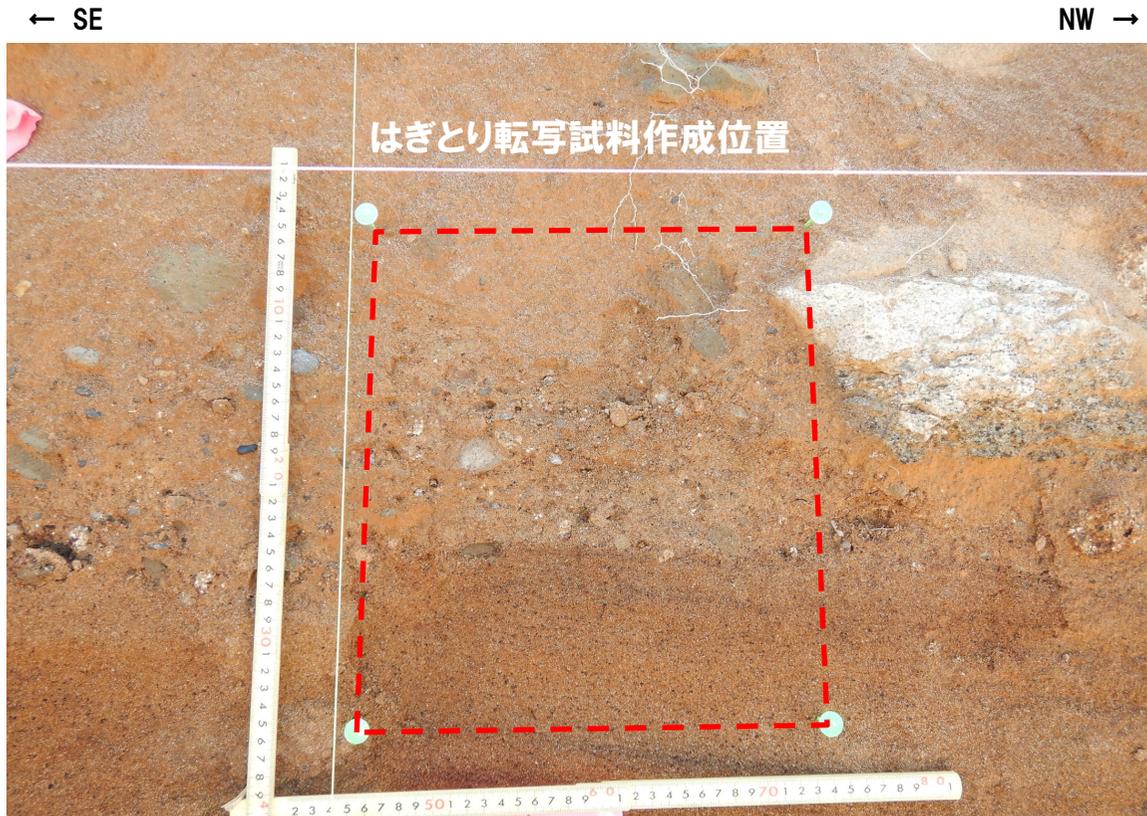
拡大写真②(左右反転)(解釈線なし)

2.2.1 地層区分の整理

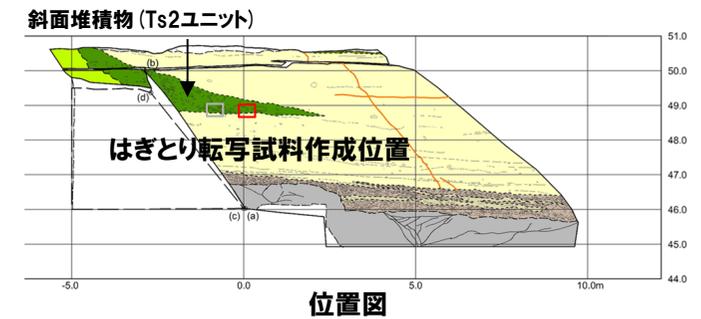
①層相確認-はぎとり転写試料(Ts2ユニット②)(1/3)-



平面図



壁面写真



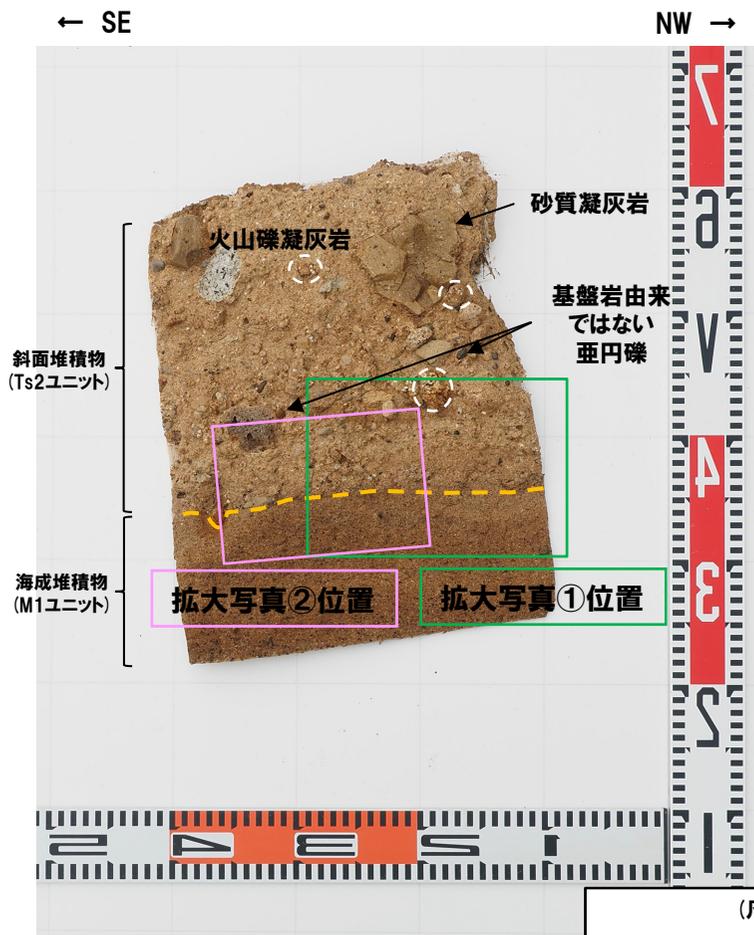
位置図

余白

2.2.1 地層区分の整理

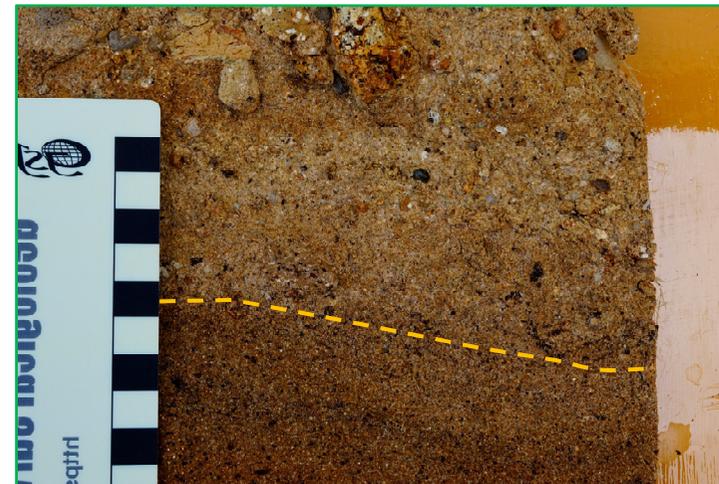
①層相確認-はぎとり転写試料(Ts2ユニット②)(2/3)-

- 海成堆積物(M1ユニット)は褐灰色を呈する砂で、細粒～中粒砂からなり、淘汰がやや良い。
- 斜面堆積物(Ts2ユニット)は淡褐灰色を呈する礫質シルト混じり砂で、基底面は下位の海成堆積物を侵食している。基質は淘汰が悪いシルト混じり細粒～中粒砂であり、旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる亜角礫(約10mm以下主体)及び砂質凝灰岩由来と考えられる亜角礫(約50mm以下主体)が認められる。また珪質岩等の基盤岩由来ではない亜円礫をわずかに含む。



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線あり)

(凡例)
 --- Ts2ユニット基底面



拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)



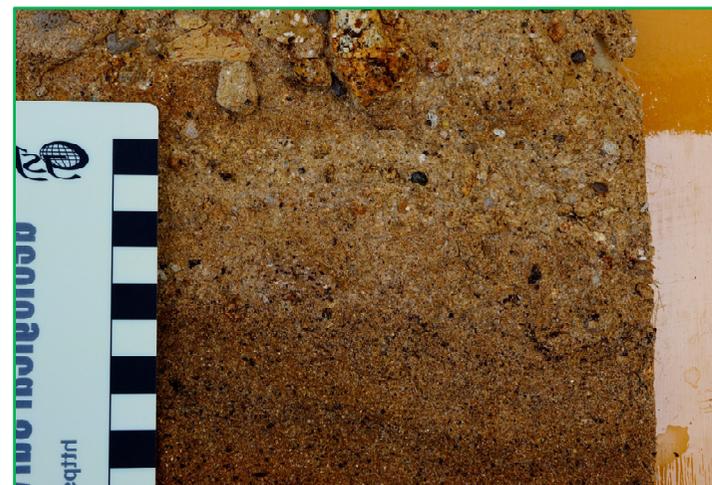
拡大写真②(左右反転)(解釈線あり)

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts2ユニット②) (3/3) -



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線なし)



拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)



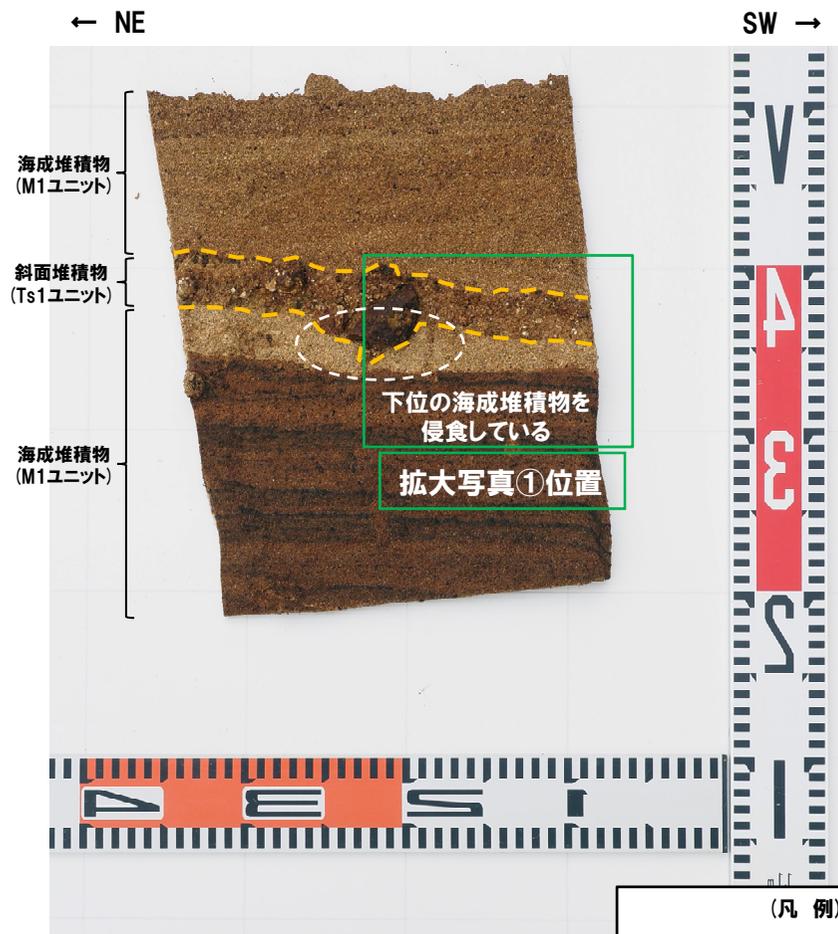
拡大写真②(左右反転)(解釈線なし)

余白

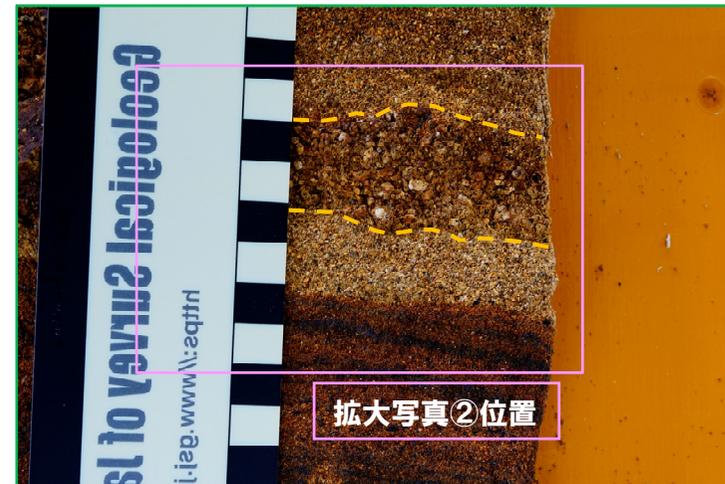
2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts1ユニット①)(2/3)-

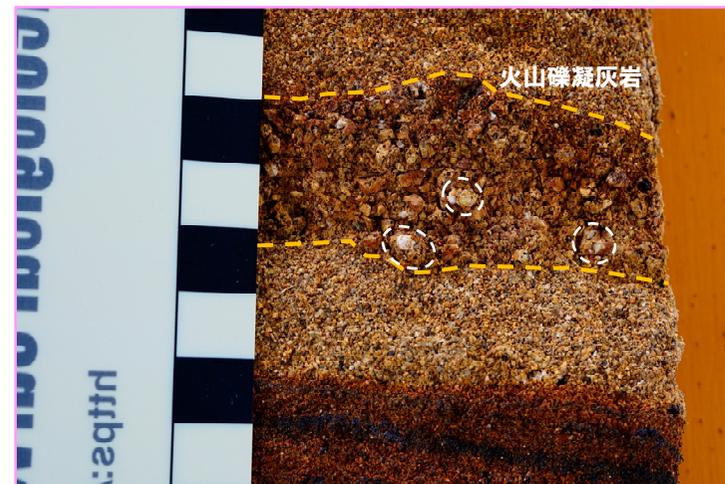
- 海成堆積物(M1ユニット)は明褐灰～暗褐灰色を呈する砂で、中粒砂からなり、淘汰が良い。平行葉理が発達する。
- 斜面堆積物(Ts1ユニット)は淡褐灰色を呈する礫質砂で、下位の海成堆積物を侵食している。旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる角礫(約10mm以下主体)が認められる。



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線あり)



拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)



拡大写真②(左右反転)(解釈線あり)

2.2.1 地層区分の整理

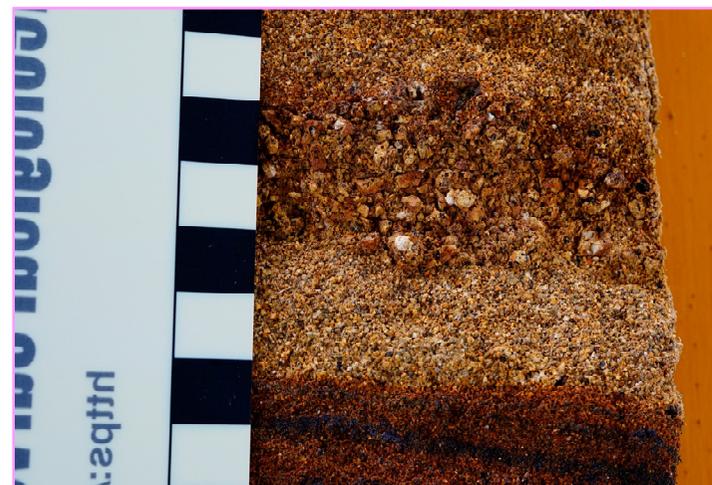
①層相確認-はぎとり転写試料(Ts1ユニット①)(3/3)-



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線なし)



拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)



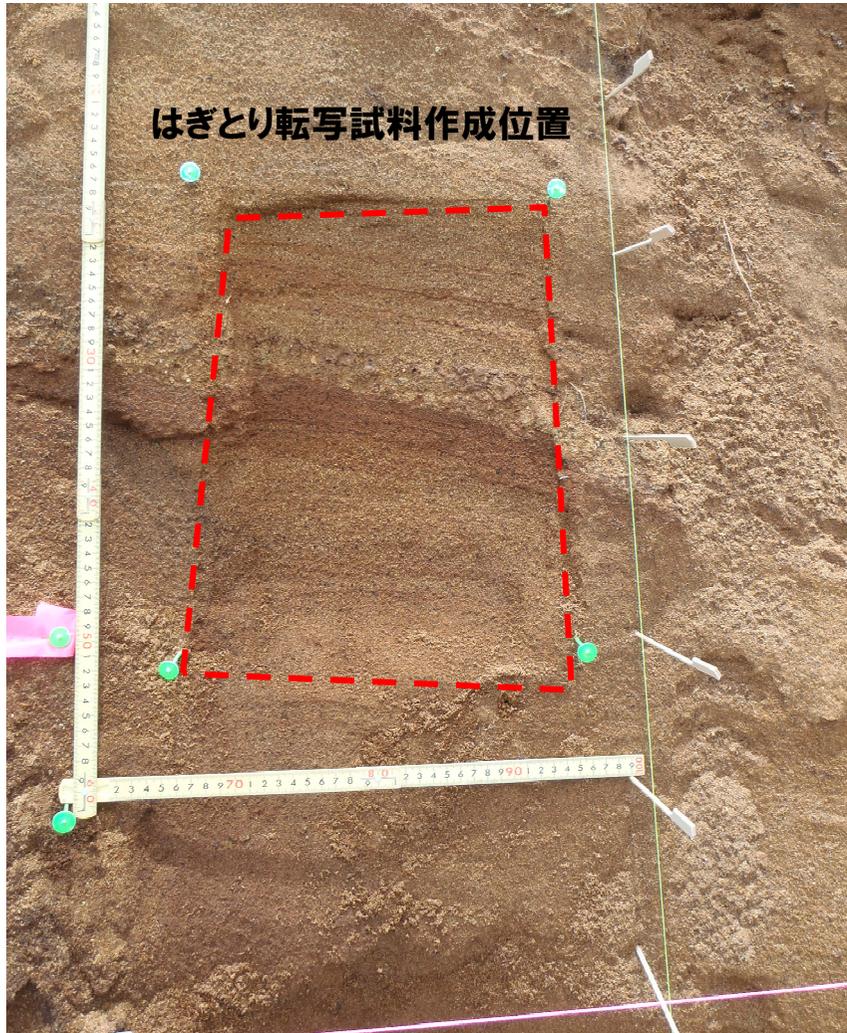
拡大写真②(左右反転)(解釈線なし)

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts1ユニット②) (1/3) -

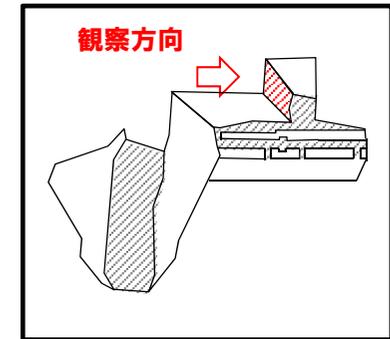
← NE

SW →

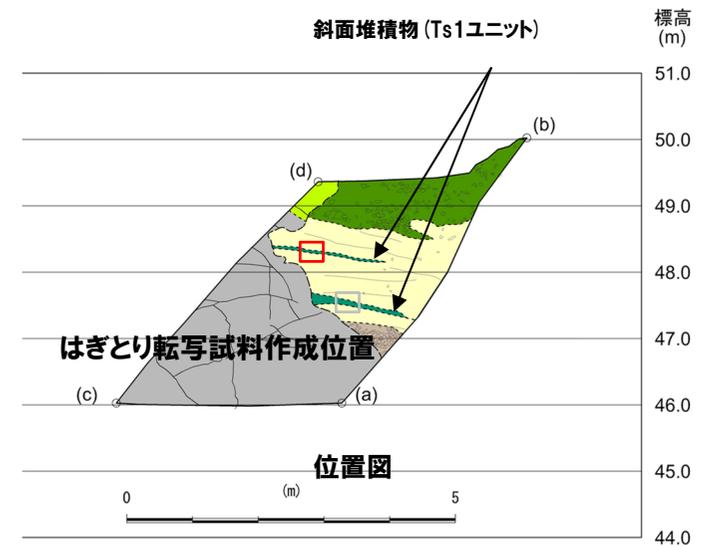


壁面写真

EL.48.0m



平面図

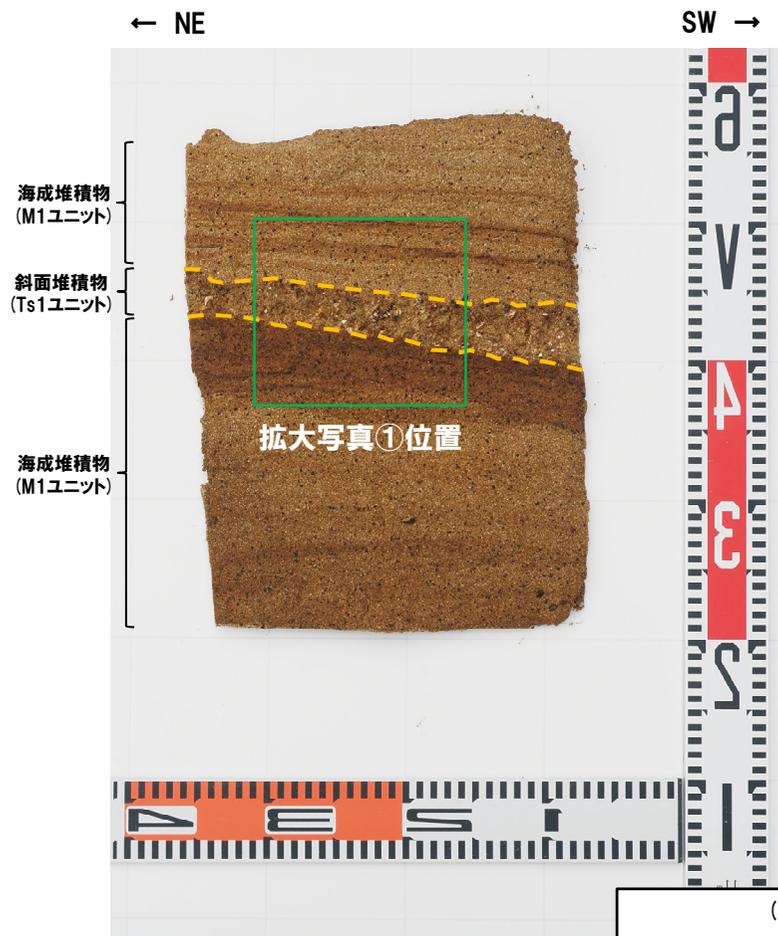


余白

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts1ユニット②)(2/3)-

- 海成堆積物(M1ユニット)は明褐灰～褐灰色を呈する砂で、細粒～中粒砂からなり、淘汰が良い。平行葉理が発達する。
- 斜面堆積物(Ts1ユニット)は淡褐灰色を呈する礫質砂で、下位の海成堆積物を侵食している。旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる角礫(約10mm以下主体)が認められる。



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線あり)



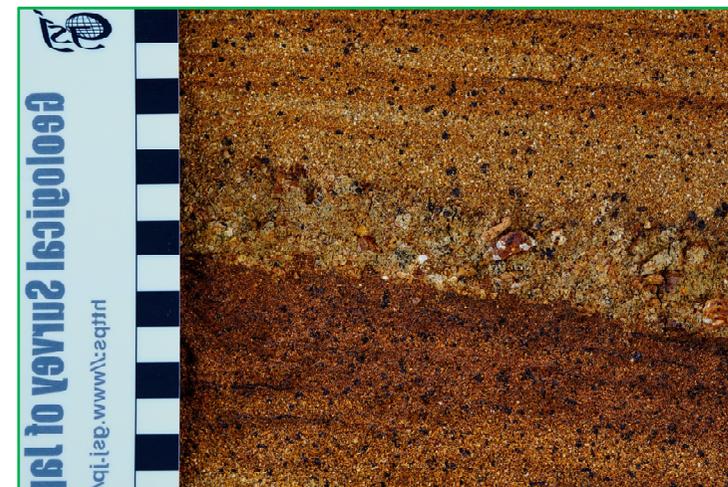
拡大写真①(左右反転)(解釈線あり)

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-はぎとり転写試料(Ts1ユニット②)(3/3)-



はぎとり転写試料写真(左右反転)(解釈線なし)



拡大写真①(左右反転)(解釈線なし)

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-まとめ(1/2)-

- 南側壁面の背後法面における層相確認により得られた、海成堆積物(M1ユニット)、遷移部(Ts3ユニット)、斜面堆積物(Ts3ユニット)及び盛土の特徴を整理した。
- また、斜面堆積物(Ts2ユニット及びTs1ユニット)についても、併せて特徴を整理した。
- 各堆積物の特徴を以下に示す。

層相確認結果

地層区分	ユニット区分	特徴
盛土	-	<ul style="list-style-type: none"> ・暗褐灰～黒褐灰色を呈するシルト混じり礫質砂～礫混じり砂～礫混じりシルト質砂で、層相変化が著しい ・不均質な層相を示す ・新鮮な角～亜円礫が混じる ・黒褐灰色を呈する箇所及びシート状の黒褐灰色のブロックが認められる ・縦方向の亀裂が発達する ・斜面堆積物に比べ、植物根が多く認められる ・層相の差異により境界は明瞭であり、断続的に剥離する
斜面堆積物	Ts3 遷移部	<ul style="list-style-type: none"> ・褐灰～暗褐灰色を呈する礫混じりシルト混じり砂 ・クサリ礫化した亜円礫及び風化した亜円礫が認められる ・塊状若しくは粒状の黒色のブロックが認められる ・基底面は下位の海成堆積物を侵食しており、葉理を侵食するものも認められる
		<ul style="list-style-type: none"> ・褐灰色を呈するシルト混じり砂 ・細粒～中粒砂がバッチ状に認められる ・シルトの偽礫が認められる ・塊状の黒色のブロックが認められる ・基底面は下位の海成堆積物を侵食しており、葉理を侵食するものも認められる
	Ts2	<ul style="list-style-type: none"> ・淡褐灰色を呈する礫質シルト混じり砂 ・基質は淘汰が悪いシルト混じり細粒砂 ・旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる亜角礫及び砂質凝灰岩由来と考えられる角礫が認められる ・基盤岩由来ではない亜円礫をわずかに含む ・下位の海成堆積物を侵食している ・Ts3ユニットにおいて認められる層相変化を示す箇所(遷移部)が認められない
	Ts1	<ul style="list-style-type: none"> ・淡褐灰色を呈する礫質砂 ・旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる角礫が認められる ・下位の海成堆積物を侵食している ・Ts3ユニットにおいて認められる層相変化を示す箇所(遷移部)が認められない
海成堆積物	M1	<ul style="list-style-type: none"> ・明褐灰～褐灰色を呈する砂 ・細粒～中粒砂からなる ・淘汰が良い ・葉理が認められる

(次頁へ続く)

朱書きは各堆積物により異なる特徴

2.2.1 地層区分の整理

①層相確認-まとめ(2/2)-

(前頁からの続き)

- 層相確認の結果、南側壁面の背後法面において認められる各堆積物及び盛土は、異なる特徴が認められ、それぞれの境界部付近において明瞭な層相の差異が認められる。
- 海成堆積物(M1ユニット)は淘汰の良い砂からなり、遷移部(Ts3ユニット)はシルト混じり砂であることから、明瞭な層相の差異が認められる。
- また、その層相境界は、遷移部(Ts3ユニット)が下位の海成堆積物(M1ユニット)を侵食する、侵食面であることから、明瞭である。
- 遷移部(Ts3ユニット)はシルト混じり砂であり、斜面堆積物(Ts3ユニット)は礫混じりシルト混じり砂であることから、層相の差異が認められるが、その層相境界は、遷移的であり、明瞭ではない。
- 遷移部は分布が断続的であることから、局所的に斜面堆積物(Ts3ユニット)が海成堆積物(M1ユニット)の直上に分布しており、その基底面は海成堆積物(M1ユニット)を侵食する、侵食面であることから、明瞭である。
- 斜面堆積物(Ts3ユニット)は、礫混じりシルト混じり砂であり、盛土はシルト混じり礫質砂～礫混じり砂～礫混じりシルト質砂で、層相変化が著しく、不均質な層相を示す。
- 両者には、明瞭な層相の差異が認められることから、その境界は明瞭である。
- 斜面堆積物(Ts1ユニット)と斜面堆積物(Ts2ユニット)は異なる層相が認められるものの、両層は、海成堆積物(M1ユニット)に挟在し、下位の海成堆積物を侵食している。
- なお、両層にはTs3ユニットにおいて認められる層相変化を示す箇所(遷移部)が認められない。
- 斜面堆積物(Ts3ユニット)は、斜面堆積物(Ts2ユニット)と以下の特徴において類似する。
 - ・下位の海成堆積物(M1ユニット)を侵食している
 - ・基質がシルト混じり砂である

- 斜面堆積物(Ts3ユニット)は、海成堆積物(M1ユニット)に挟在する斜面堆積物(Ts2ユニット)と特徴が類似する。
- 遷移部は、斜面堆積物(Ts3ユニット)との層相対比及び下位の海成堆積物(M1ユニット)を侵食する状況を踏まえると、斜面堆積物(Ts3ユニット)に区分されるものと判断される。

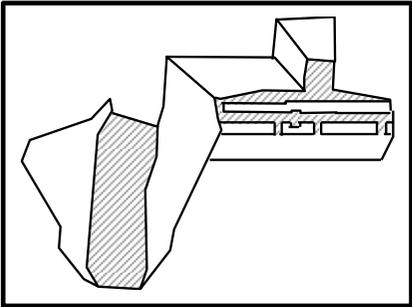
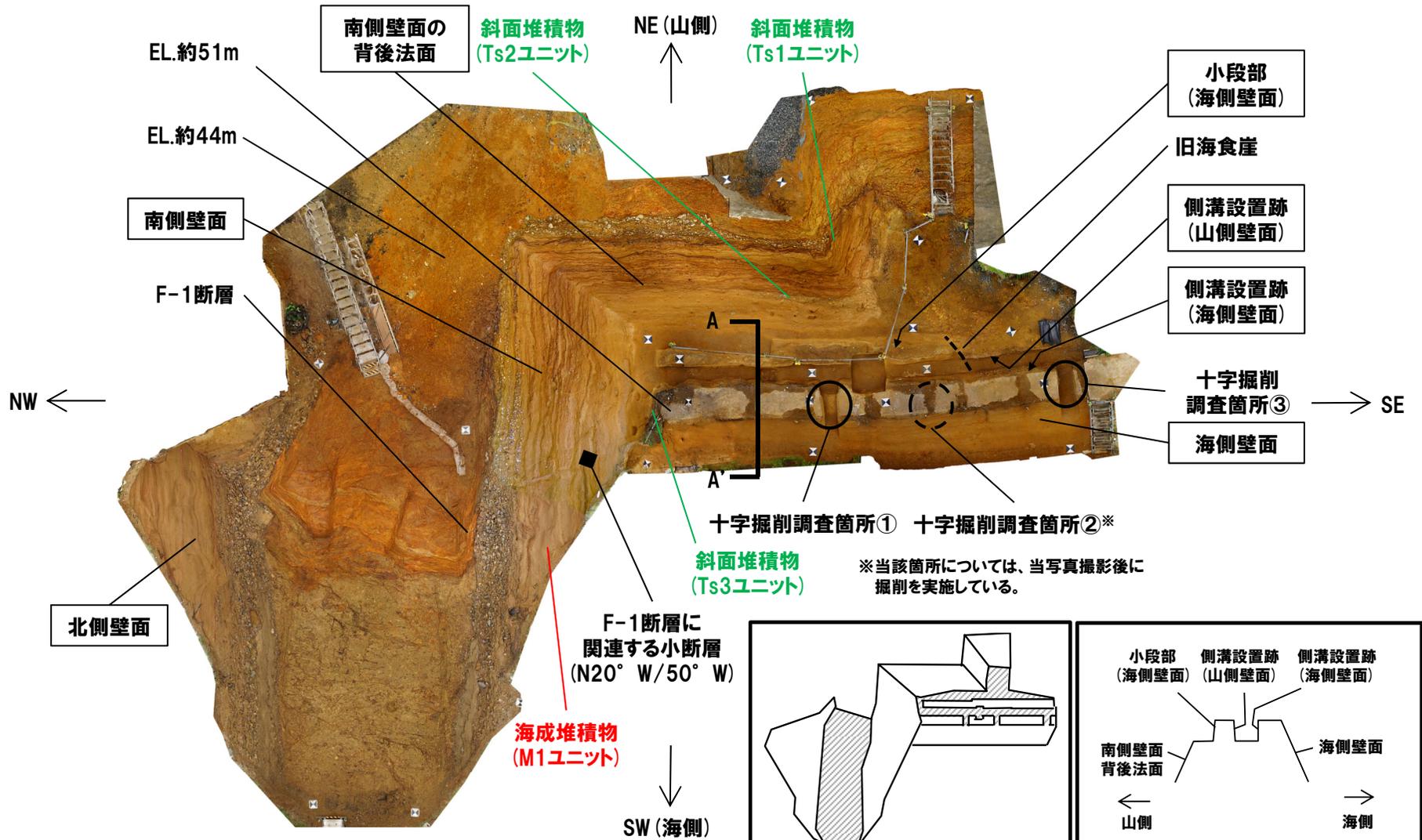
2.2.1 地層区分の整理

②南側壁面の背後法面における堆積物の連続性

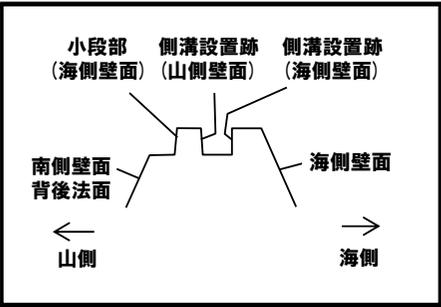
- Ts3ユニットの分布状況を明確にするため、先に整理した層相境界の考え方にに基づき、南側壁面の背後法面の天端付近のうち、以下の壁面において、詳細スケッチを作成した。
 - ・側溝設置跡海側壁面 (P108～P113参照)
 - ・側溝設置跡山側壁面 (P114～P119参照)
 - ・小段部海側壁面 (P120～P125参照)
 - ・海側壁面 (P126～P132参照)
 - ・十字掘削調査箇所 (P134～P136参照)
- Ts3ユニットのうち、遷移部の代表的な層相は、シルト混じり砂である。
- このため、礫混じりシルト混じり砂の中に、シルト混じり砂が分布する範囲を遷移部が分布する範囲と評価し、詳細スケッチに示した。

2.2.1 地層区分の整理

②-1 開削調査箇所(南側)の全体俯瞰図



平面模式図

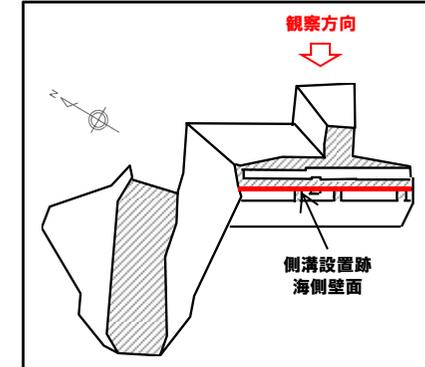
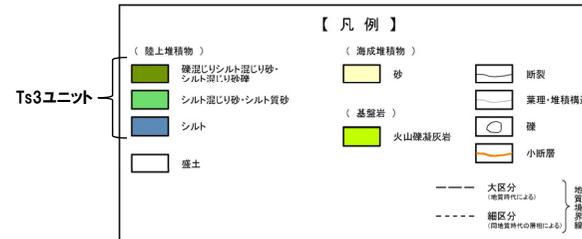


南側壁面の背後法面 天端付近 断面模式図 (A-A' 断面)

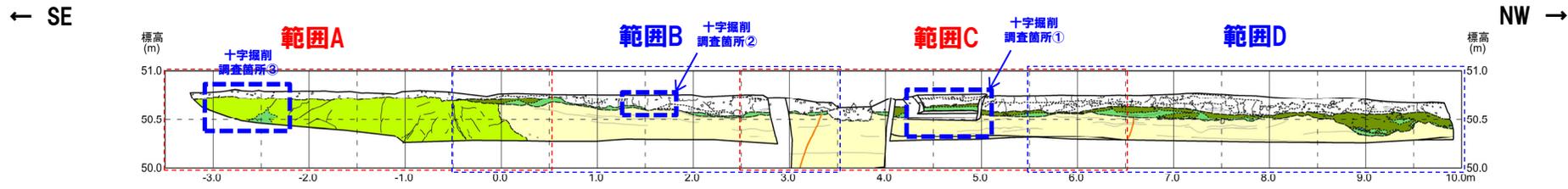
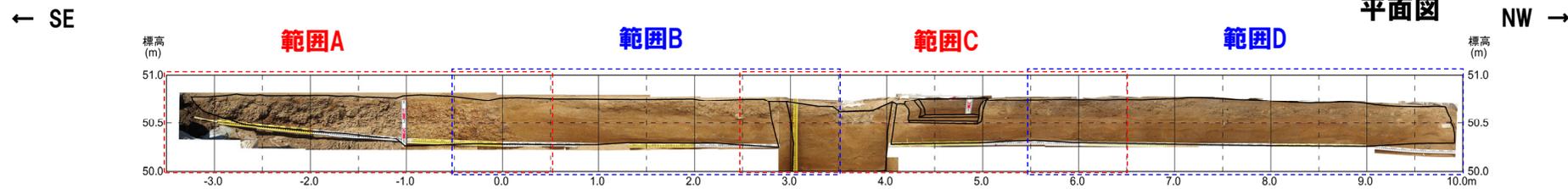
開削調査箇所(南側) 露頭状況

2.2.1 地層区分の整理

②-2 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (1/5)



平面図 NW →

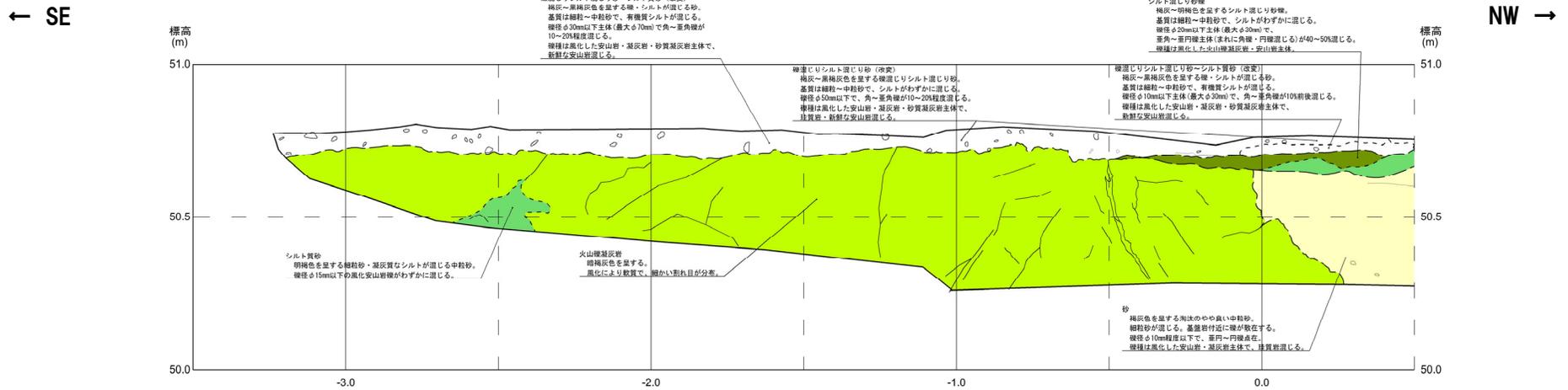
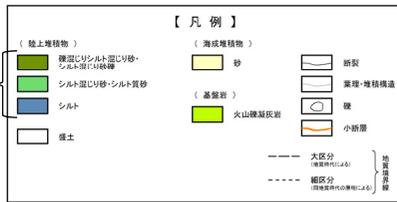
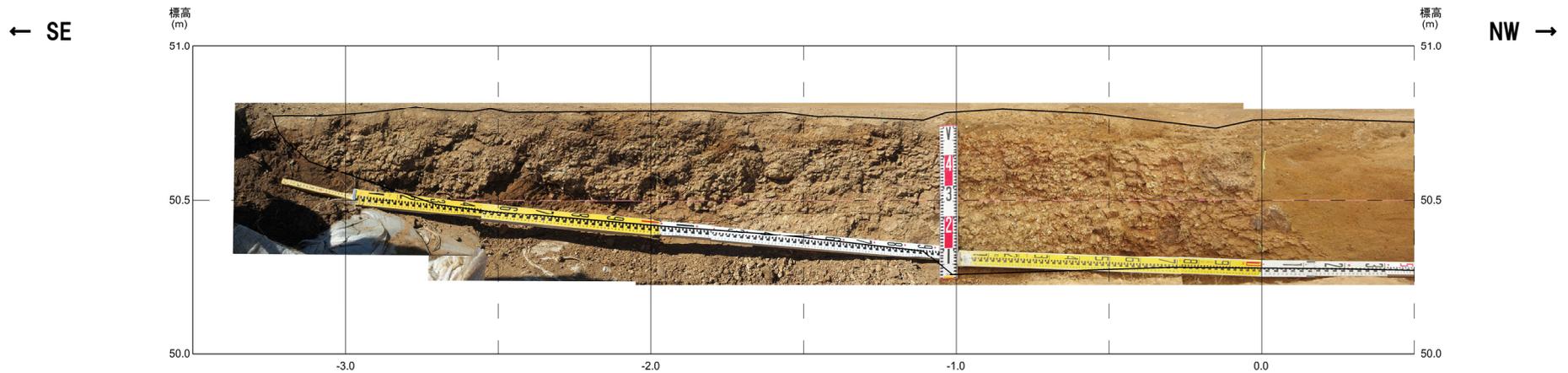


開削調査箇所(南側)側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ

余白

2.2.1 地層区分の整理

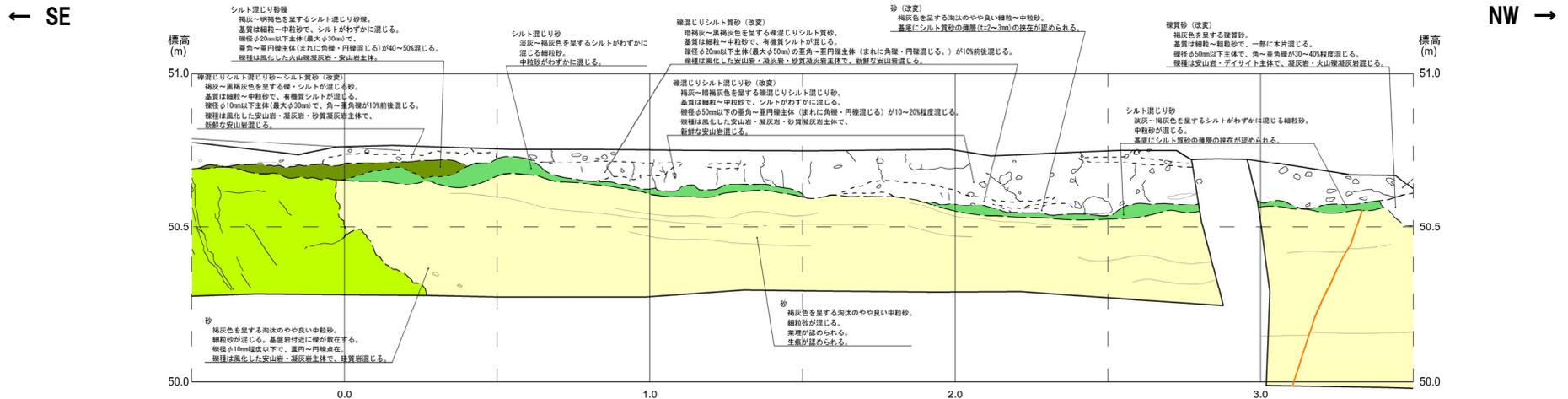
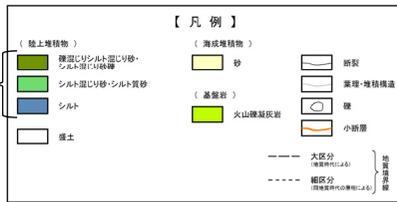
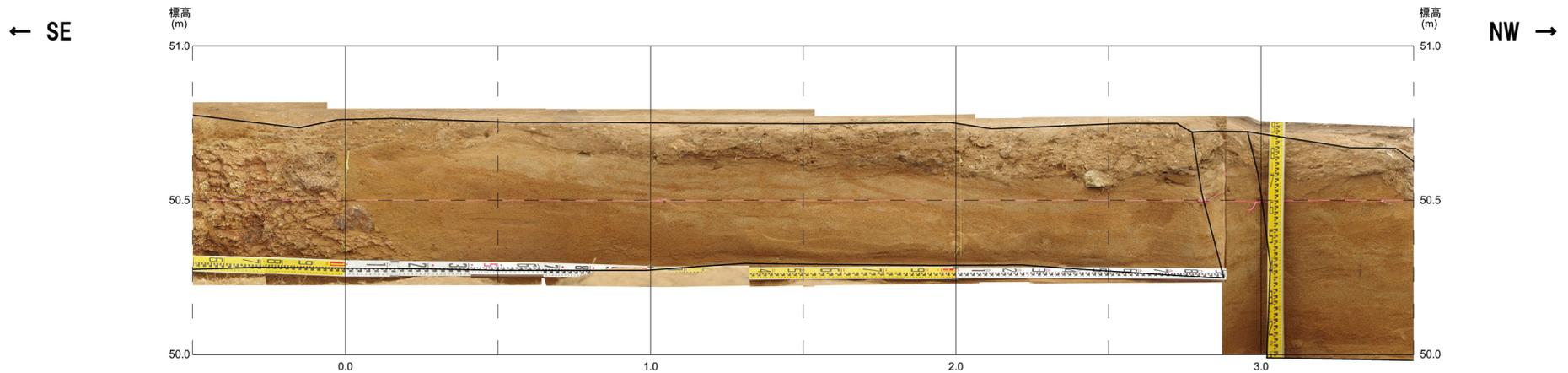
②-2 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (2/5)



開削調査箇所(南側) 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (範囲A)

2.2.1 地層区分の整理

②-2 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (3/5)



開削調査箇所(南側) 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (範囲B)

2.2.1 地層区分の整理

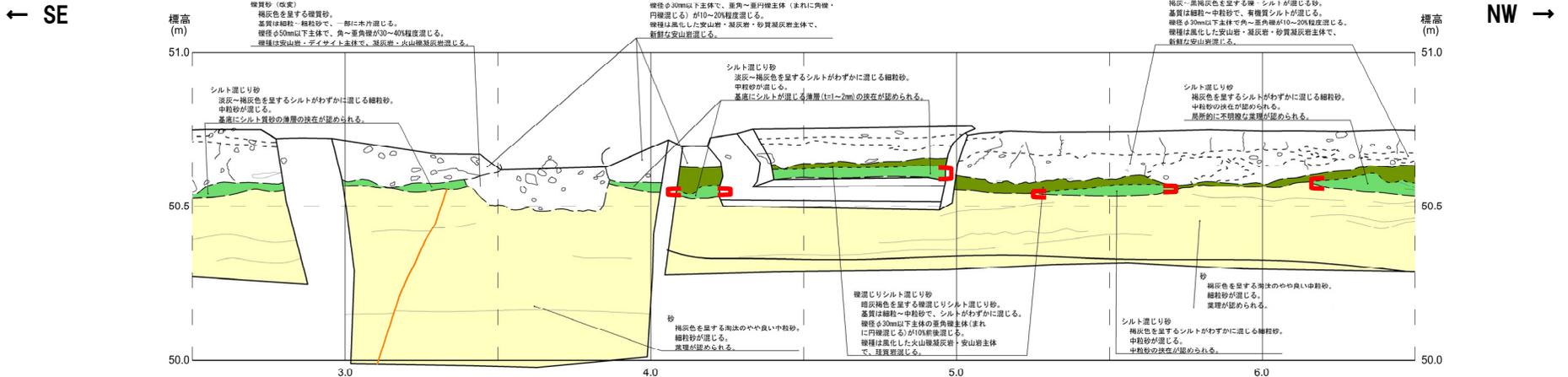
②-2 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (4/5)



【凡例】

(陸上堆積物)	(海成堆積物)	
緑褐色を呈する微質砂	砂	断崖
シルト混じり砂-シルト質砂	シルト	崖頂・堆積構造
シルト	基盤岩	礫
硬土	火山噴出灰岩	小礫層

地層区分
 --- 大区分 (地質図上)
 - - - 細区分 (現場実測の地層による)



開削調査箇所(南側) 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (範囲C)

(凡例) **[]**:遷移部の分布範囲

2.2.1 地層区分の整理

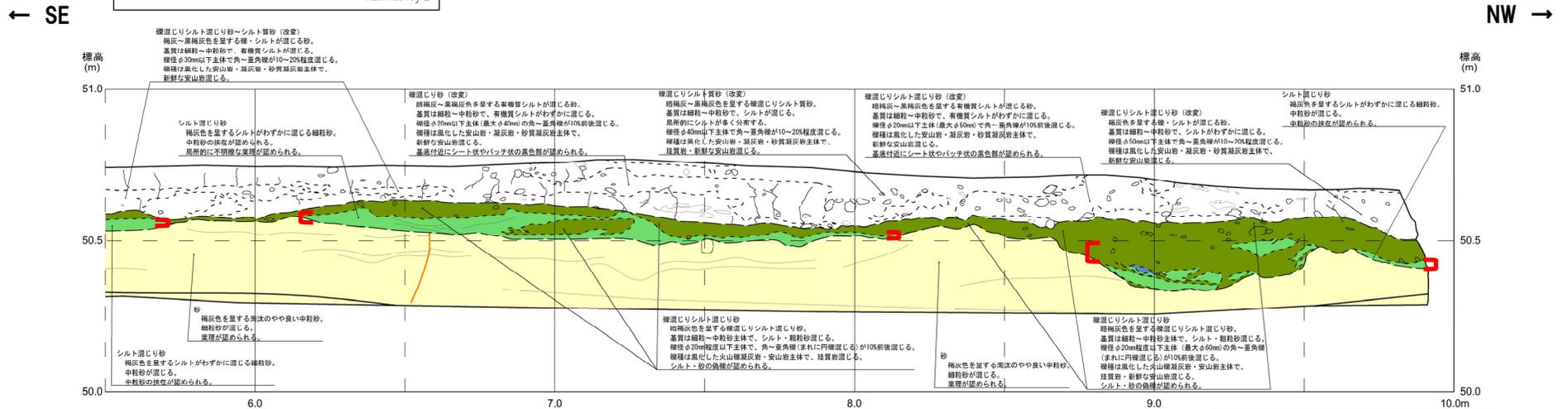
②-2 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (5/5)



【凡例】

〔陸上堆積物〕		〔海成堆積物〕		断崖
緑色	緑褐色にシルト混じり砂・シルト混じり中粒砂	黄色	砂	崖壁・堆積構造
青緑色	シルト混じり砂・シルト質砂	緑色	〔基盤岩〕	礫
青色	シルト	緑色	火山礫凝灰岩	小礫層
白色	硬土			

--- 大区分 (地層区分)
 --- 細区分 (地層区分の細分化による)

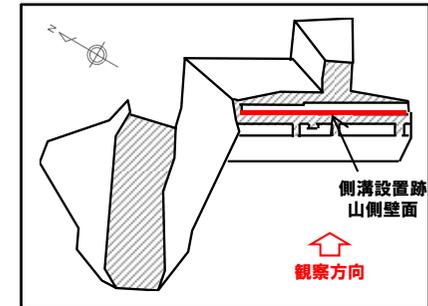
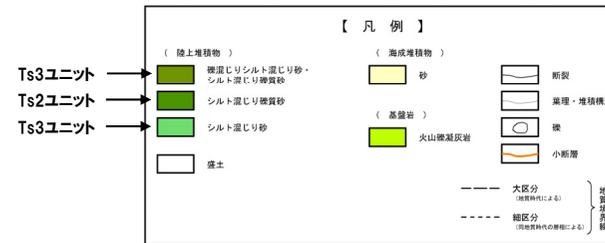


〔凡例〕
[] : 遷移部の分布範囲

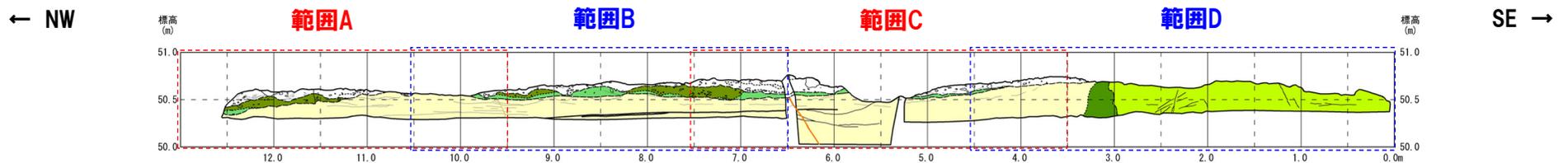
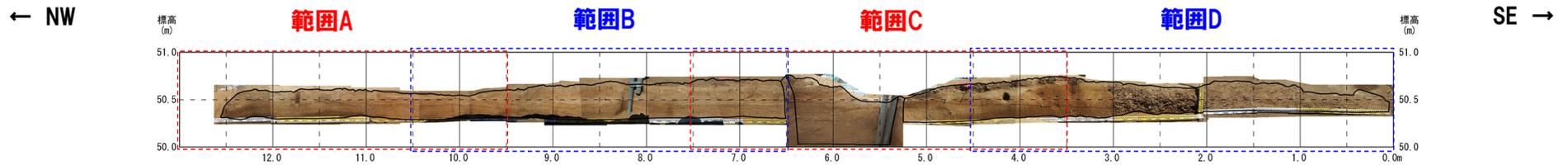
開削調査箇所(南側) 側溝設置跡海側壁面 写真及びスケッチ (範囲D)

2.2.1 地層区分の整理

②-3 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (1/5)



平面図

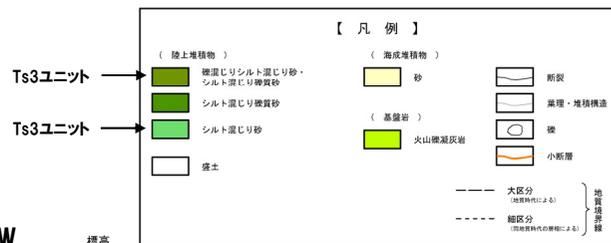


開削調査箇所(南側)側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ

余白

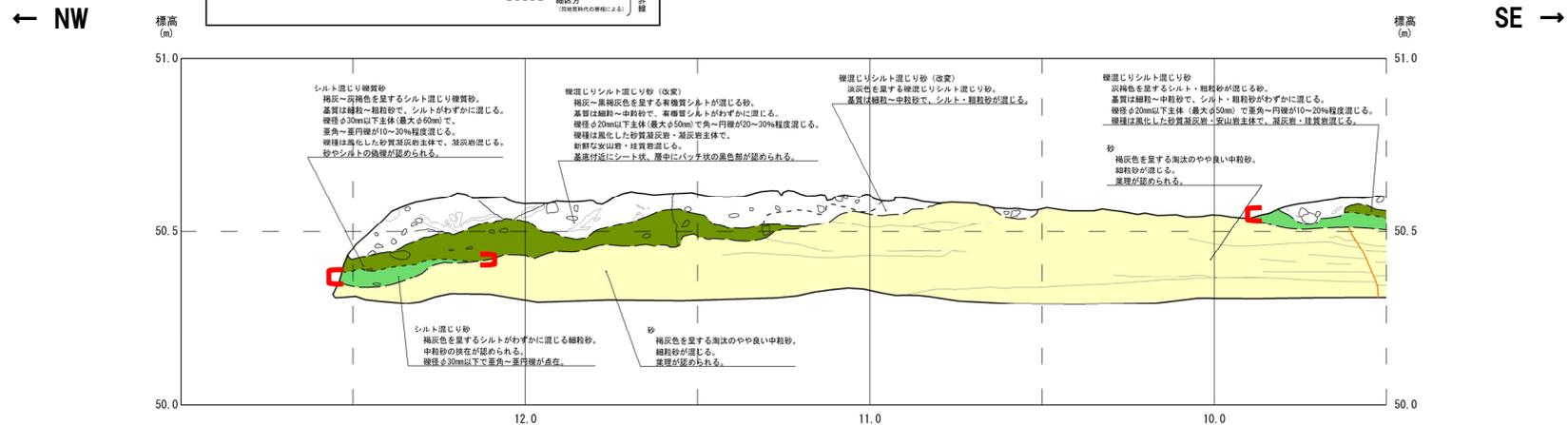
2.2.1 地層区分の整理

②-3 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (2/5)



(凡例)

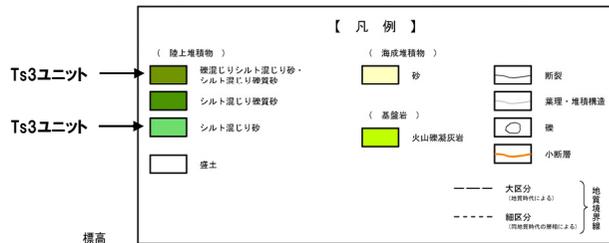
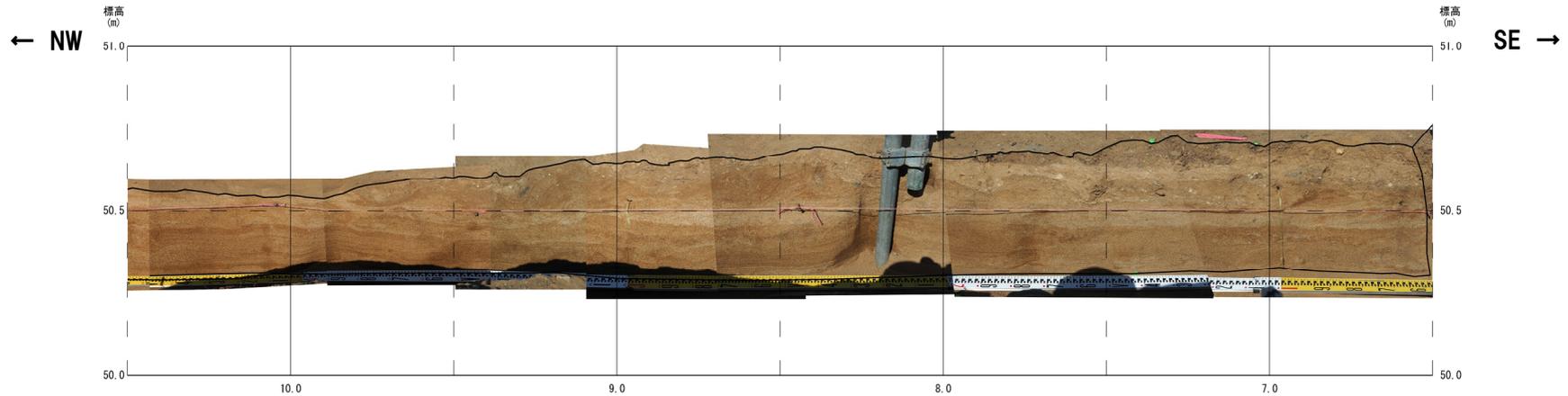
 : 遷移部の分布範囲



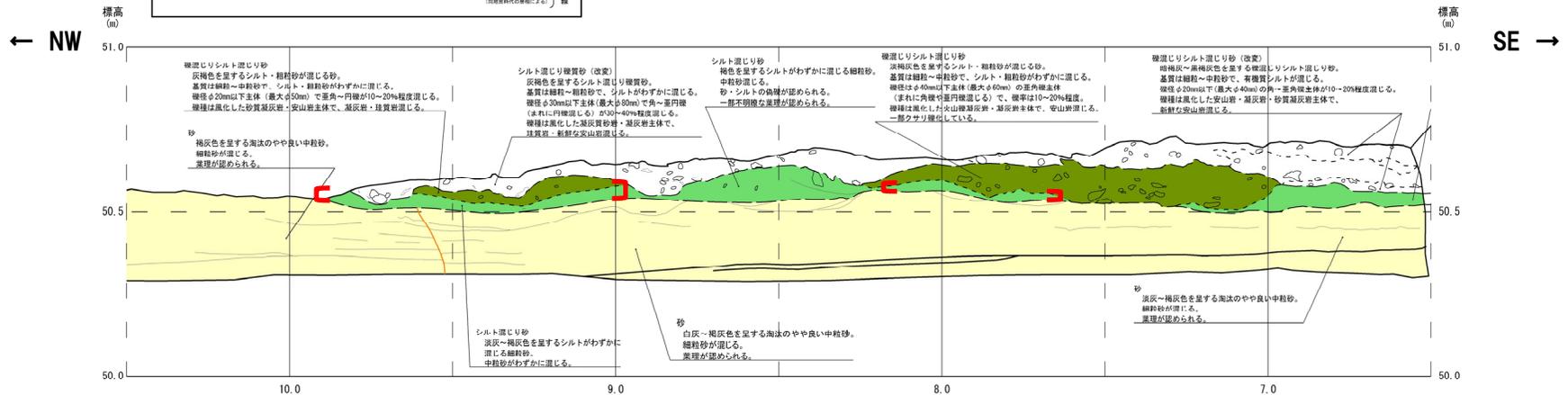
開削調査箇所(南側) 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (範囲A)

2.2.1 地層区分の整理

②-3 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (3/5)



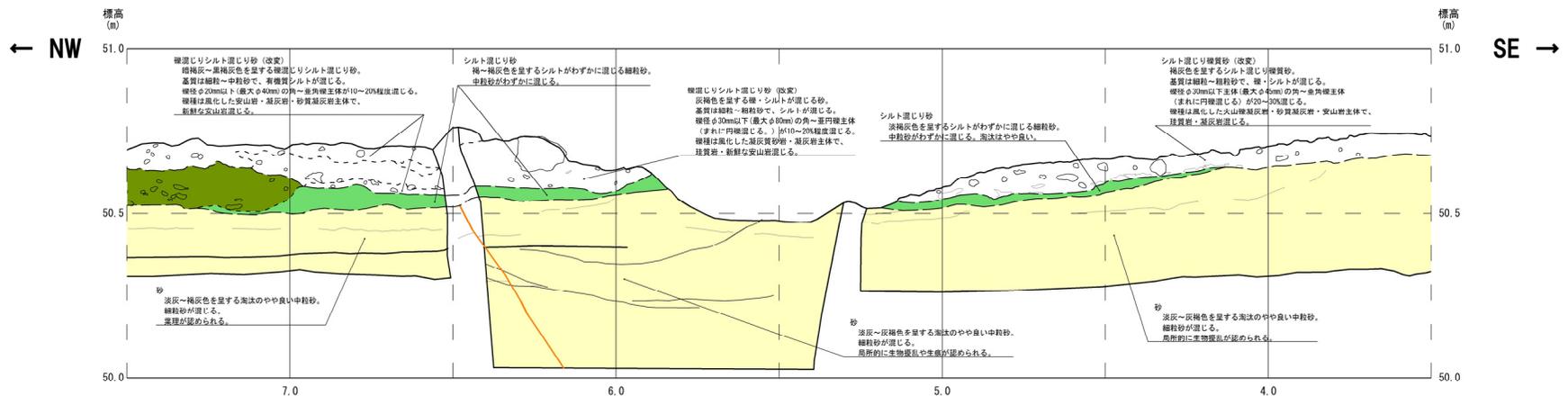
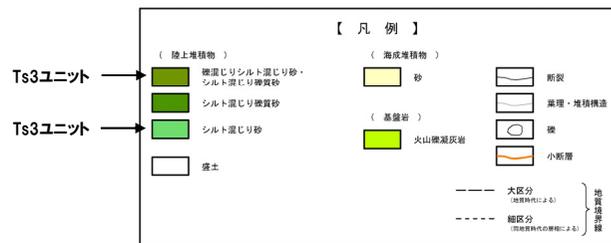
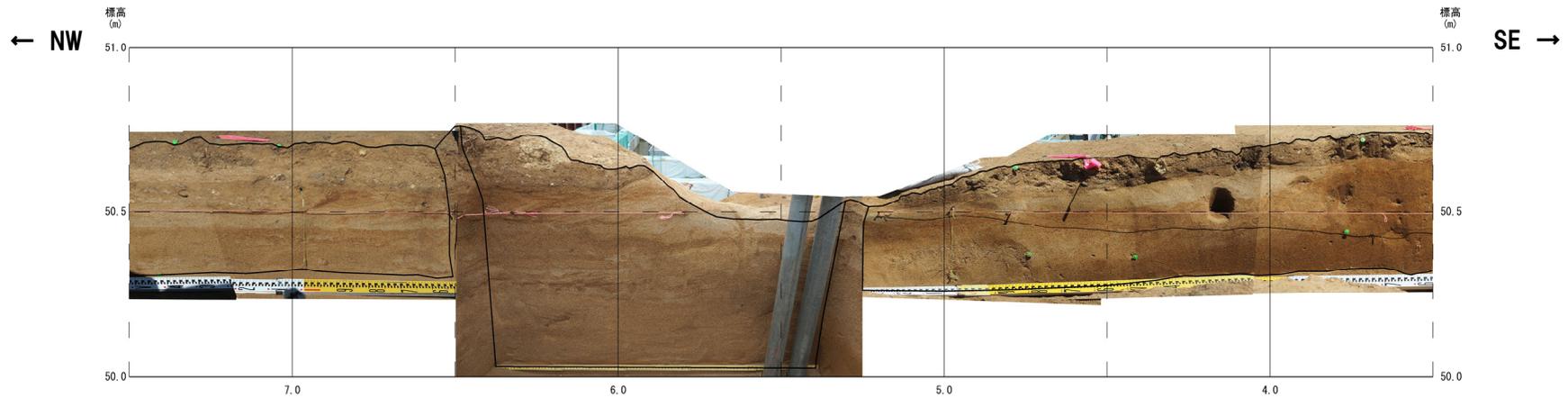
(凡例)
 : 遷移部の分布範囲



開削調査箇所(南側)側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (範囲B)

2.2.1 地層区分の整理

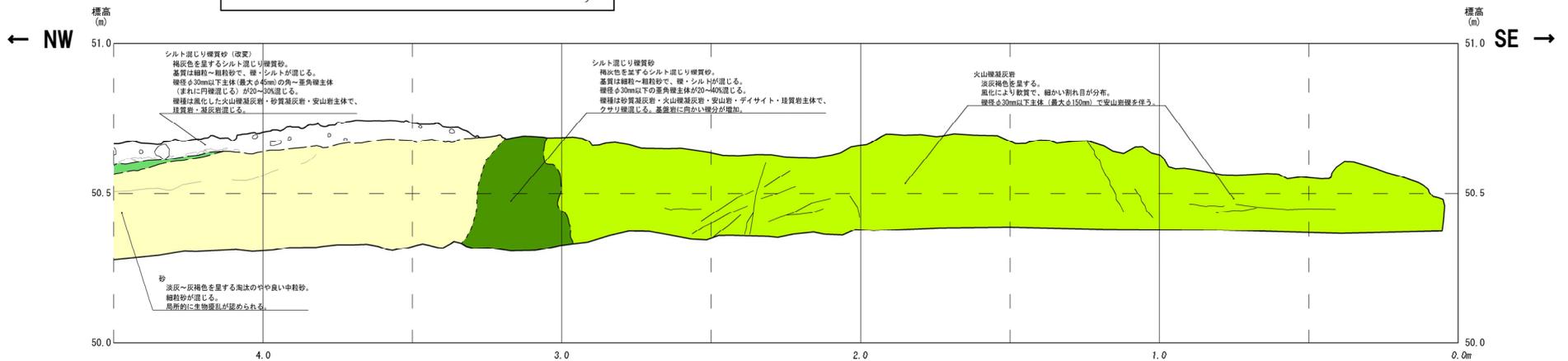
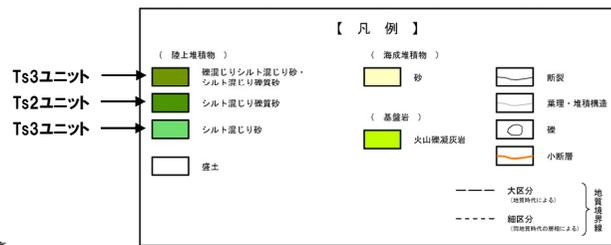
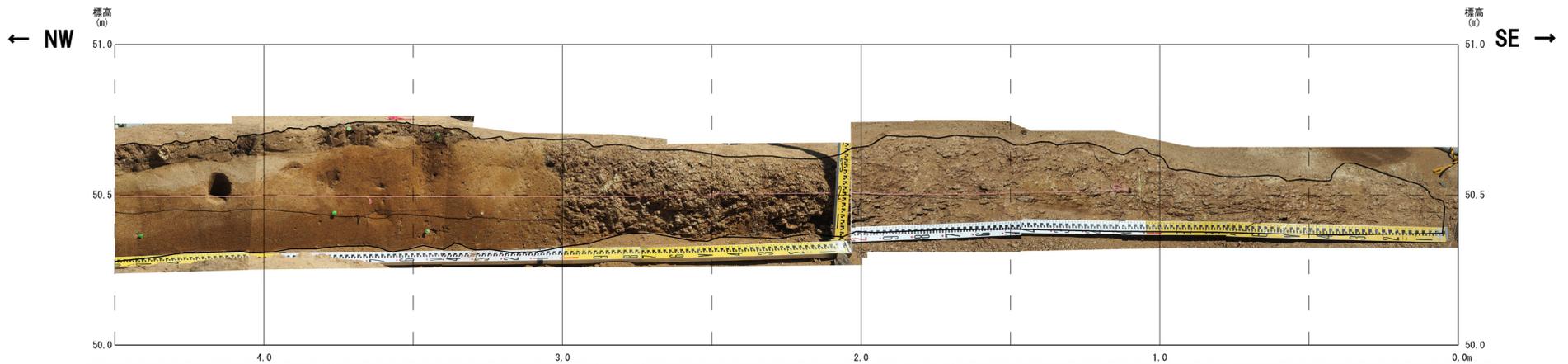
②-3 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (4/5)



開削調査箇所(南側) 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (範囲C)

2.2.1 地層区分の整理

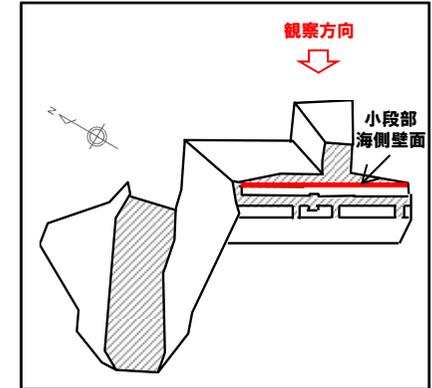
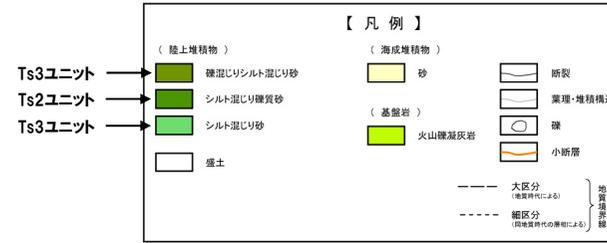
②-3 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (5/5)



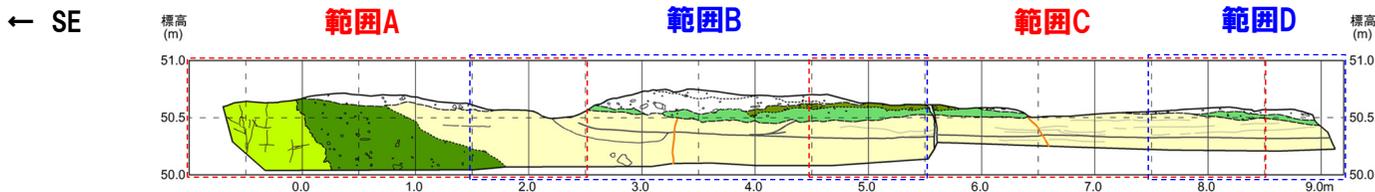
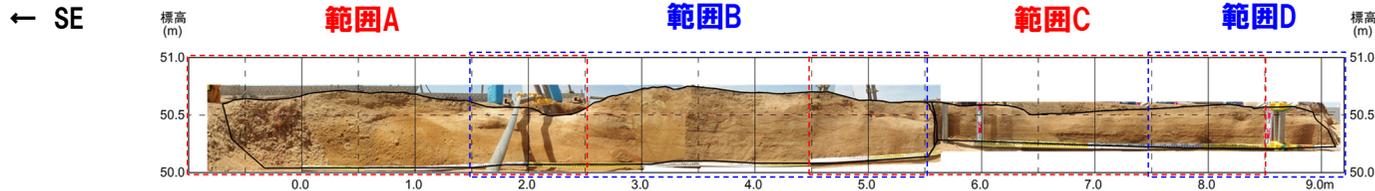
開削調査箇所(南側) 側溝設置跡山側壁面 写真及びスケッチ (範囲D)

2.2.1 地層区分の整理

②-4 小段部海側壁面 写真及びスケッチ (1/5)



平面図



開削調査箇所(南側) 小段部海側壁面 写真及びスケッチ